

追悼

坂本龍一

登壇者

大友良英（音楽家、SIAF2017ゲストディレクター）
飯田志保子（SIAF2014アソシエイトキュレーター、SIAFコミッティメンバー）
PART 2 特別出演：上田文雄（ACF代表、前札幌市長）
モデレーター：カジタシノブ（ACFスタッフ）



Photo by Neo Sora ©2020 Kab Inc.

PART-1

「即興と社会…2010年代以降の坂本龍一」
大友良英が氏との交流を通じて
見てきたものを語ります。

PART-2

「坂本龍一と札幌国際芸術祭（SIAF）」
SIAF2014でゲストディレクターである坂本龍一と協働した
アソシエイトキュレーター 飯田志保子と、
SIAF2017のゲストディレクター 大友良英による対談です。
坂本はSIAFで何を目指していたのか、またそれを受けて
大友が何をしようとしたのかなどをエピソードを交えて語ります。

カナモトホール（札幌市民ホール）

札幌市中央区北1条西1丁目2階会議室1-2

入場料：一般 1,500円 / ACF会員・学生・V-net会員 1,000円

お問合せ：ACF札幌芸術・文化フォーラム <http://www.sapporoacf.org/>

ご予約メール：sapporoacf@gmail.com 電話：090-3110-6575（有田）

2024.1.21 SUN

OPEN 18:00 - START 18:30

坂本龍一

坂本龍一 RYUICHI SAKAMOTO
(音楽家、SIAF 2014 ゲストディレクター)

1952年、東京都生まれ。78年『千のナイフ』でソロデビュー。同年『Yellow Magic Orchestra』を結成。散開後も多方面で活躍。『戦場のメリークリスマス』(83年)の音楽では英国アカデミー賞、映画『ラストエンペラー』の音楽ではアカデミーオリジナル音楽作曲賞、グラミー賞、他を受賞。環境や平和問題への言及も多く、森林保全団体「more trees」の創設、また「東北ユースオーケストラ」を立ち上げるなど音楽を通じた東北地方太平洋沖地震被災者支援活動も行った。2013年山口情報芸術センター(YCAM)アーティストティックディレクター、2014年札幌国際芸術祭ゲストディレクターを務め、2018年piknic/ソウル、2021年M WOODS/北京、2023年M WOODS/成都での大規模インスタレーション展示、また没後も最新のMR作品「KAGAMI」がニューヨーク、マンチェスター、ロンドン、他を巡回するなど、アート界への積極的な越境は今も続いている。2023年3月28日、71歳で死去。



大友良英 YOSHIOHIDE OTOMO
(音楽家)

1959生まれ。映画やテレビの音楽を数多く作りつつ世界各地のノイズや即興の現場がホームの音楽家。美術と音楽の間のような作品から、一般参加のプロジェクトも多数。長年にわたりアジア各地の音楽によるネットワークづくりにも奔走。震災後は故郷の福島でも活動。2012年芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門受賞。2013年「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞受賞。2017年札幌国際芸術祭の芸術監督。福島市を代表する夏祭り「わらじまつり」の改革も手がける。



Peter Gannushkin

札幌国際芸術祭2024 (SIAF 2024)

会期

2024年1月20日(土)~2月25日(日)

【37日間】

会場

未来劇場(東1丁目劇場施設)、北海道立近代美術館、札幌芸術の森美術館、札幌文化芸術交流センターSCARTS、モエレ沼公園、さっぽろ雪まつり大通2丁目会場、ほか

※一部の会場は会期が異なります。

<https://2024.siaf.jp>

飯田志保子 SHIHOKO IIDA
(キュレーター)

東京オペラシティアートギャラリーのキュレーターを11年間務めた後、ブリスベンのクイーンズランド州立美術館／現代美術館内研究機関の客員キュレーター、韓国でのフェローシップ・リサーチャーを経て、第15回アジア・アート・ビエンナーレ・バンガラデシュ2012、あいちトリエンナーレ2013、札幌国際芸術祭2014のキュレーションを担う。2014年から2018年まで東京藝術大学准教授。アジア、豪州各地域、ミラノで共同企画展を实践。あいちトリエンナーレ2019及び国際芸術祭「あいち2022」チーフ・キュレーター。引き続き学芸統括として「あいち2025」に向けて鋭意準備中。SIAFコミティメンバー(2015-)



ToLoLo studio

「ACF札幌芸術・文化フォーラム」とは

創造都市札幌の芸術・文化の未来を拓こうと、2007年春に市民有志が立ち上げた団体。市民と芸術家そして行政、企業を結ぶネットワークを形成し、さまざまなイベントを実施し、情報を発信している。市民らの協働による芸術・文化の溢れるまち作りを目標としている。代表は上田文雄(前札幌市長)